

省  
考  
課  
状

大藏省考課状

八

本省

明治六年四月  
ヨリ六月迄

官省雜科ノ部  
府縣雜科ノ部

共八冊

第一類	二七七冊	十八架	一二二函
-----	------	-----	------

国立公文書館  
分類  
2 A  
35-4  
架架番号  
記1057

1057  
1049

官省雜科ノ部  
府縣雜科ノ部

大藏省考課狀

官省雜科ノ部

明治六年四月ヨリ  
六月ニ至ル

目次

第一號

司法省へ張訴ノ儀ニ付商議

第二號

正院ヨリ印書局石板買入金交付ノ達旨

第三號

陸軍省ヨリ官負月給ノ商議

第四號

目次

大藏省

考課狀

外務省ヨリ長州下ノ関償金ノ件在米公使譯文ノ回達

第五號

史官ヨリ神奈川縣推令神戸行期限外滯留ノ高議

第六號

正院ヨリ印書局工場營繕ノ下議

第七號

史官ヨリ當省府縣達旨摺物等上呈ノ今羨濃紙ヲ用エヘキ告知

第八號

外務省ヨリ當省土木寮雇外國人規程外印播縣下ノ銃獵失錯ノ高議

第九號

宮内省ヨリ御璽國璽鑄造ノ高議

第十號

外務省ヨリ議事章程ノ儀高議

第十一號

史官ヨリ外務省申牒舊福井藩木内甚兵衛米國船買入差纏ノ高議



第十二號

正院ヨリ東京府下加藤新十郎外一人皇城湟  
浚ノ下問

第十三號

開拓使ヨリ議事章程ノ商議

第十四號

正院ヨリ石川縣送致ノ異宗門徒日本船ニテ  
長崎へ送ルヘキ達旨

第十五號

正院ヨリ海外派出官負支度料ノ下問

第十六號

文部省ヨリ非常ノ節官負其他盡力ノ者手當  
ノ諮問

第十七號

外務省ヨリ寺嶋全権公使大禮服製裁ノ商議

第十八號

正院へ賞典英官負増減ノ儀ニ付稟候

第十九號

司法省ヨリ舊斗南藩帰農商ノ者へ救助金下  
賜ノ始末ニ付商議



第二十號

宮内省ヨリ往復記録謄寫ヲ請フ来牒

第二十一號

宮内省ヨリ地方官拜謁ノ商議

第二十二號

正院へ議事閉會ノ申報

第二十三號

式部寮ヨリ御門出入印紙ノ告知

第二十四號

史官ヨリ當省諸務局用度課簿書進送ノ商議

第二十五號

工部省ヨリ英人「レ」ボルト「ト」返金ノ来牒

第二十六號

史官ヨリ演達ニ付當省事務章程進達ノ副書

第二十七號

史官ヨリ邏卒賞賜扶助等ノ概例取調ノ儀ニ

付来牒

第二十八號

正院へ「レ」ヤツパン「ノ」ル「ノ」儀再陳

第二十九號



左院ヨリ洋籍代價勘定ノ儀ニ付商議

第三十號

史官ハ當省中各寮局課簿書記名取調進達ノ副書

第三十一號

外務省ヨリ「ウヨルクハンク」ハ大藏為替代銀ヲ申付ケレ儀ノ商議

第三十二號

史官ヨリ府縣目安箱ノ商議

第三十三號

史官ヨリ東伏見宮英人「アストン」ハ贈品ノ儀ニ付商議

第三十四號

正院ハ地方官轉任ノ節舊廳往來取計方ノ建言

第三十五號

外務省ヨリ宗從四位朝鮮通交ヲ罷メ公私貿易現品處今ノ儀商議

第三十六號

史官ヨリ諸官省使寮司用地々券其他書類ノ



儀商議

第三十七號

正院へ新瀉柏崎兩縣合併ノ具陳

大藏省考課狀

官省雜科ノ部

明治六年四月ヨリ  
六月ニ至ル

第一號

司法省へ各地方人民冤枉或ハ苦情等ヲ申立當  
 省へ張訴スル者アラハ其訴狀直ニ貴省へ送致  
 スへキカ尤無名印ノ者ハ燒棄シ其旨ヲ揭示ス  
 へキカト商議スルニ張訴類有名ノ今ハ取揚ケ  
 但當省ノ事務上ニ關係アルハ送致アルヘシ無  
 名ノ分ハ封ノ儘燒棄シ封中掛念ナレト回答セ

三月二十  
四日追加

大藏省

大藏省

官



第二號

正院ヨリ印書局需用急條ノ刷印石版器械買上  
ノ儀聽許セルヲ以テ洋銀二百九十九弗十五セ  
ンド此金三百十一圓二十一錢六厘給付スヘシ  
トノ達旨アリ乃チ了承スル旨回報セリ四月二日

第三號

陸軍省ヨリ當省諸官負月給ヲ廢シ年給日割ニ  
改正シ武官俸給表即チ來四月ヨリ施行スヘシ  
然ラハ獨武官ノミナラス文官モ此ニ準シ月給  
ハ翌月三日渡ニ公布ヲ請ハントス然ルニ辛未

年第七十五号ノ公布ニ悖リ且月給翌月渡等ハ  
他省ト齟齬スルヲ以テ意見ヲ問フトノ商議ア  
リ乃チ協議ノ意了美スト云ヘ凡文官武官ハ判  
然界限アレハ貴省文官ノ月給改革アリテハ他  
省ヘ差響キ異同ノ論ヲ生スヘキト必然ナルヲ  
以テ改革セサルヘキ旨回答セリ四月四日

第四號

外務省ヨリ長洲下ノ関償金ノ件在米森代理公  
使ヨリ差越セシ譯文寫亞人ビトシノルカ  
述ル書ノ畧ニ云ク千八百六十三年下ノ関迄海



ニ放テ日本砲臺ト米國蒸氣<sup>ロイ</sup>ヲミ<sup>ン</sup>船ト砲  
戰ヲ始メ米船ハ烟管網具ヲ大ニ損レ其修複料  
五千元出征彈藥ノ費五千百六十九元合計一萬  
百六十九元ナリ午八百六十四年九月英佛蘭米  
ノ四國合從シテ日本ニ向ヘリ其時偶米國軍艦  
ノ横濱在港ナカリシハ我公使ハルロツト砲一  
門ヲ備ヘタル蒸氣<sup>タイキ</sup>マ<sup>ン</sup>船ヲ一月九千五  
百元ニテ借受ケ四日間ノ戰ニ十八彈ヲ發ス其  
價二百六十元ニシテ總計我政府ノ費ス所一万  
九千九百二十九元ナリ午八百六十四年十月二

十二日會同ノ上右四國ノ申立ノ如ク日本政府  
ニ於テ同意セリ右ハ四度ニ割リ合ヒ五十萬元  
宛ヲ四國ニ渡サン<sup>ト</sup>ヲ約セリ爾後三度今即テ  
百五十萬元ハ納リタレト残り五十萬元ハ午八  
百七十二年條約改訂ノ期限マテ若干時間縮帛  
茶葉ノ稅銀ヲ免除シ延期セン<sup>ト</sup>ヲ四國ニテ美  
允セリ右五十萬元ノ内三十七万五千元ハ我國  
ノ受納スヘキ分ナリ右ハ去冬下院ニ於テ棄捐  
ニナサン<sup>ト</sup>ヲ決議シ其趣ヲ上院ニ申立外國事  
務官ハ既ニ許允セリ日本ヨリ納メタル償金ハ

國務執政之ヲ預リ置キ合衆國官券ノ資金ニ加  
ヘリ千八百七十二年三月十二日「ハミルトン」  
ヒン氏ノ記載ニ據レハ七十八万零三百五十四  
元九五ニ至レリト尚今日迄ノ利息ヲ加ヘハ八  
十万以上ナルヘシ去ル國會ノ時ニ余カ國諸君  
子ヨリ差出タル懇願書ヲ許容アリテ我政府ニ  
テハ清國人民教育ノ為ニ清國償金ヲ返濟スヘ  
ク思ハレタリ即チ日本償金モ同様ナレハ日本  
モ國民教育ノ資ニ充テハ益我國ノ德義ヲ信シ  
貿易大ニ益アラントノ概意ヲ贈レリ  
四月十  
二日

第五號

史官ヨリ神奈川縣権令大江卓當二月二十五日  
發途ニ神奈川ニ到リ養病滞在中縣用出来ニ付  
期限外滞留四月十一日帰縣ノ趣上陳セシカ右  
ハ最前貴省ニ伺濟ノ趣ヲ以テ出發シ期限外滞  
留モ亦貴省ニテ聽許セラレシヤ其始末具陳ア  
ルヘシトノ商議アリ此ニ於テ右ハ井上大藏大  
輔在阪中生絲會社ノ儀ニ付神奈川権令ヨリ京  
都府ニ打合方申達シ期限外滞留ニ及ヒシナリ  
此儀帰京ノ上速ニ申牒スヘキノ所多事ニ紛レ

遅延セシ段ヲ陳述セリ四月十日

第六號

正院ヨリ印書局工場營繕ノ下議アリ即チ土木  
寮ニテ計算スルニ三千八百圓餘ノ費項ナリ右  
入費ハ各省相持テト決定シ尤其内金一万圓ハ  
正院ト當省ヨリ支給シ其他ハ各省今割ノ制限  
ヲ立テ各其定額金ノ内ヨリ之ヲ集合シテ印書  
局經費金負ノ全額ヲ定メ工業モ之ニ準シテ經  
營センコトヲ同局ヘ下命アリテ然ルヘシト上申

セリ四月十日

第七號

史官ヨリ貴省ノ府縣達旨摺物等上呈ノ分ハ自  
今美濃紙摺ト一定セラレヘシトノ告知アリ因  
テ本年第六十三号ヨリ同官ヘ回ス五部ツ、ハ  
美濃紙ヲ用ユル事ヲ決セリ四月十日

第八號

外務省ヨリ印播縣管下流山村蓑亭山崎屋清八  
方ヘ大藏省雇英人ヨミツ外五名従者太三郎ト  
去ル二月二十八日ヨリ滞留シ遊歩銃獵セシヲ  
以テ縣吏出張懇諭シテ帰京ヲ勸ムト云ヘ氏言

語不通ヲ口實トシテ聞入レス更ニ相馬郡我孫  
子宿へ當三月三日出發セリ規程外ノ遊歩ナル  
カ如何處今スヘキヤト同縣稟候セリ右ハ貴省  
雇入ノ儀ナレハ早々引戻サルヘシトノ商議ア  
リ乃チ之レヲ調査セシニレミツニハアラス土  
木寮雇ツオトトルスナリ因テ外務省商議ノ趣  
嚴ニ督責ヲ加ヘ謝罪狀ヲ出サシメタルヲ以テ  
將來ハ此等ノ失錯ナカラシメント回答セリ月  
十九日

第九號

宮内省ヨリ御璽國璽鑄造ニ付精良ノ純金代價  
幾何ナルカト商議アリ乃チ純金一匁價二圓五  
十錢四厘餘ナリ然レモ純金ニテハ却テ彫鏤充  
分ニ調ヒ難タカルヘキニ付尚決議ノ上商議ア  
ルヘシト回答セリ四月二十一日

第十號

外務省ヨリ貴省上梓スル所ノ議事章程十部ヲ  
請フテ海外派出我公使領事館へ送致シ此顛末  
旨趣ヲレテシメタキトノ商議アリ乃チ其趣ヲ  
了兼セリト云ヘモ會同ハ全ク當省ト地方官ト

大

八

百

問ニ取設ケレモノニテ政府ノ開設トスル者誤  
認シ流傳シテハ不可ナルニ付此旨ヲ詳悉在留  
公使へ通知アルヘシト摺本十部ヲ添テ回答セ

リ四月二  
十四日

第十一號

史官ヨリ外務省申牒スル所ノ福井藩水内甚兵  
衛去ル慶應三卅年長崎在留米國商人ケース社  
中ヨリ船買入違約差纏レ一件公使ノ手ヲ經テ  
再應申立審問セシ上ハ是非ノ裁判ニ及フヘキ  
云々ノ商議アリ乃テ結局手附殘金渡方ノ儀福

井藩廳へ關係アルカ又ハ水内甚兵衛一巳ノ商  
法ニ係ルカ固ヨリ藩債ナラハ是迄ノ手續キ更  
ニ判然調査スヘキヲ以テ右書類悉ク送致アル  
ヘシ若木内甚兵衛一巳ノ商法ナレハ當省ニ関  
係セス宜ク司法省へ送致シテ可ナリ當省ニ於  
テモ外債件々取調セシニ此件更ニ見ヘサル趣

回答セリ四月二  
十五日

第十二號

正院ヨリ東京府下西福田町加藤新十郎外一人  
皇城舊二ノ丸焚趾ニ國宝埋没アルノ目度ヲ以



テ白蝶湟々浚ノ願旨アリ省議如何ヲ具陳スヘ  
シトノ下問アリ乃テ差支ノ事モナケレハ聽許  
アリ然ルヘレ但掘出物品并ニ工役人等監視ハ  
タメ當省ヨリモ官負出張ナサシムヘキニ付當  
省ヘ申牒スヘキ旨下命アリタシト由答セリ  
四月  
二十  
五日

第十三號

開拓使ヨリ今般府縣會同議事ヲ開カル、由ニ  
付参考ノ為メ議事章程并ニ議案共送致ヲ請フ  
ト商議アリ乃テ議事章程一部ヲ送典シ議案ハ

贈リ難タシト回答セリ  
四月二十九日

第十四號

正院ヨリ石川縣送致スル所ノ異宗門徒日本船  
ニテ長崎ヘ送ルヘキ旨兵庫縣ヘ達スヘシトノ  
下命アリ右耶蘇宗民帰籍ノ老幼病者神戸港ニ  
滞在セシニ付送致ノ事云々過ル二十八日外務  
省ヨリ商議アリ即チ兵庫縣ヘ電信ヲ以テ通知  
セシニ同縣ニ於テモ同省ヘ諮問ノ上飛脚船ヲ  
以テ深坊ニ取扱フヘキ旨返報アリ但入費関涉  
ノ事件ナレハ更ニ書面ヲ以テ相達セシ旨上陳



五月三日

第十五號

正院ヨリ外務省申牒スル所ノ是迄各國へ派出ノ公使書記官等へ旅費支度料ノ外別段ノ恩典アリシカ自今廢止セラレタリ右ハ恩典ノ名義ナレ氏其實支度料補足ノ朝意ニシテ自今廢止セラル、時ハ調度ノ不足補フヘキノ途ナリ且各國視察理事官ノ如キ一時出張立歸ノ者ト同様ノ支度料ニテハ其不足ヨリ各國交際上体裁ニモ関涉スヘキニ付公使領事書記官等在勤ノ

向ハ定額支度料一倍五割増ヲ支給セラレント乞フニ因テ其省意見具陳不ヘシトノ下問アリ此ニ於テ外國行ノ者ハ旅費ノ外渡航入費相當支給セラルヲ以テ一身百事不足ナルヘシ殊ニ陸續派出各員自ラ奮テ榮典トセル今日ノ勢ナレハ費用派遣ノ上支障ナカルヘキニ付廢止ノ儘ニテ然ルヘシト上陳セリ  
五月四日

第十六號

文部省ヨリ非常ノ節官負其他ハ遣等格別盡力ノ者へ手當ノ儀諮問アリ乃テ至申二月二十六



日司法省添邸燒凶ノ時盡方セシ等外一等ヨリ  
上下小遣ニ至ル迄各一人ニ付金五十錢同濟ニ  
テ下付レ同時紙幣寮燒亡ノ節官負邏卒等金千  
足ヨリ百足迄ノ差等ヲ立テ賞與セルニ例ヲ按  
テ照會ノ為ニ回答セリ  
五月十日

第十七號

外務省ヨリ英國在留寺嶋全權公使公署費用勘  
定帳ノ内彼國女王謁見ノ節着用ノ大礼服仕立  
費用大使同様官金ヲ以テ繰替置キシカ官費ニ  
立テ然ルヘキヤトノ商議アリ右ハ他ノ一般製

服ト異ナラサルヲ以テ私費タルヘキ旨通知セ  
ラルヘシ尤大使一行ハ追テ歸朝ノ上精算シ然  
ルヘシト回答セリ  
五月十日

第十八號

正院へ賞罰英官負増減ノ儀今般改定正院事務  
章程中ニ見ヘタリ是迄献金一万圓以下ノ者へ  
當省ニ於テ金銀盃ヲ下交スル成規モ之レアリ  
右ニ照準シ閑壑救助又ハ施藥醫療ノ類ハ凡其  
費程ヲ計算シ百兩千足ノ割合ヲ以テ賞譽ニ孝  
子義僕節婦等行誼ニ属スルモノハ府縣申牒ノ

文意ヲ以テ從來ノ舊套ニ因テ參考シ百足ヨリ  
三千足迫ヲ賜ル事ニ處今シ且又府縣事務繁冗  
ノ節ハ判任以下官負増ヲ請ヒ事實止ムヲ得サ  
レハ當省限り聽取セリ右ハ何レモ従前ノ通り  
取計ラヒ然ルヘキヤトノ旨稟候セリ五月十  
四日

第十九號

司法省ヨリ去ル庚午十月舊斗南藩歸農商ノ者  
へ配賦米金下賜ノ顛末ヲ了知ナシタキニ付其  
節達旨書類一覽ヲ請フトノ商議アリ乃チ辨官  
ヨリ金十七万圓并米千二百石ヲ賜ハリ速カニ

彼地ニ移リ生産ニ基ツクヘキヤウ勵精シ總テ  
民部省ノ差圖ヲ受ヘキ等ノ口達案并ニ青森縣  
へ指令等ノ書類ヲ纏メ悉ク贈リ且同藩ニ於テ  
目前ノ指丈ヲ以テ兼テ配賦スヘキ金ヲ慢ニ遣  
拂ヒ今日ニ至リ更ニ官ヨリ出金ヲ乞フ共聽許  
スヘキニ非ス舊官負従前ノ處置取調實際廳費  
ニ遣拂ヒシ確證アラハ當省ニ於テモ夫々處置  
ニ及フヘキノ處今ニ取調モ行届カタキヲ以テ  
配賦ニ洩レシ者苦情ヲ唱ヘ貴省へ訴へ出テシ  
由承聞セリ付テハ舊官負従前ノ處置等巨細糾



彈アリテ貴報アリ度旨回答セリ  
五月十日

第二十號

宮内省ヨリ皇城炎上ノ節諸記録類焼失セルニ  
由リ維新以来往復ノ記録謄寫ヲ請フトノ来牒  
アリ乃チ當省寮局ノ今差向六年一月ヨリ謄寫  
レ漸次進送スヘキ旨回報セリ  
五月十日

第二十一號

宮内省ヨリ在京地方官拜謁仰付ラルニ付日限  
申出ツベシトノ高議アリ乃チ来ル二十日出頭  
スヘキ旨貴省ヨリ知令参事へ達セラルヘシト

回答セリ  
五月十日

第二十二號

正院へ自今府縣ノ職務掣肘束縛事務滯溢ノ弊  
ナカラン為メ経緯租ノ分界ヲ初メトメ更正ノ  
目的ヲ立テ本年四月十二日ヲ期シ會同ノ場ヲ  
開キレ以来議案中決否未タ議ニ上ラサル  
件アリト云ヘ氏議事章程中掲載ノ適當五月十  
二日満期ニ開會スヘキ旨申報セリ是ニ於テ議  
事既ニ畢リ他ニ關係ナキ者ハ各歸縣セシムヘ  
キ旨指令セリ  
五月十日

第二十三號

式部寮ヨリ皇城炎上跡出入印紙日附ナキノ今五十枚外ニ二十枚都合七十枚ヲ渡シ尙遣拂ノ上ハ更ニ相渡スヘシ云々ノ来牒アリ  
五月二十日

第二十四號

史官ヨリ貴省諸務局用度課掌管簿書進送アルヘシトノ商議アリ乃テ諸務局簿書三十六部用度課二十一部合計五十七部ヲ進呈セリ  
五月二十三日

第二十五號

工部省ヨリ先年上野景範歐州行ノ節彼地ニ於

テ英人コレホルトヘ洋銀四百五十二弗八十三セント取替置シ書籍代今般返納取計ノ旨傳票ヲ添へ来牒アリ乃テ其旨ヲ了承スルニ由リ出納寮ヨリ領収日限報知スヘシト回答セリ  
五月二十日

第二十六號

史官ヨリ演達ニ付乃テ當省事務章程租稅戶籍出納検査驛通記録六寮諸務局及ヒ職務受付往復傳票用度附屬書記廻議受付七課合十四綴外ニ統計寮書添但造幣寮ハ遠隔ニ付追テ進呈ス



ヘク土木紙幣二寮ハ當今調査中ニ付追テ進呈  
スヘキ旨申牒セリ五月二  
十七日

第二十七號

史官ヨリ邏卒扶助葬埋料等先般貴省ニ於テ調  
査アリシ書照合ノ儀アルニ由リ差遣セラレハ  
シト来牒アリ乃テ邏卒重傷死ニ至ル者祭染料  
金三十圓家族扶助金百圓一等傷痕終身不具ニ  
シテ自己ノ用ヲ辨スル能ハサル者金百圓二等  
傷痕終身不具ニシテ漸ク自己ノ用ヲ辨スル者  
金七十圓同稍次ナル者金五十圓三等傷痕不具

ト云ヘル自己ノ用便兵產業ヲ為シ得ルモノ金  
十五圓賞典概例強盜兇器ヲ持スルモノ二等ニ  
今テ一等ハ小銃鎗薙刀太刀等ノ類二等ハ短刀  
鐵杖木棍ノ類ナリ一等兇器ヲ持スル強盜一人  
ヲ縛スル者一名ナレハ金十圓二名ナレハ各金  
五圓三名ナレハ各三圓四名ナレハ各二圓五名  
ナレハ各一圓五十錢六名以上ハ邏卒負數ニ拘  
ハラス一同ヘ七圓ヲ給ス二等兇器ヲ持スル盜  
一人ヲ獲ルモノ一名ヘ金七圓邏卒入數多ケレ  
ハ前例ニ照ス五人以上ハ一同ヘ四圓ヲ給ス以

上ハ生擒スルモノ、例トス若シ斬獲或ハ傷痕  
捕獲スルモノハ一等兇器七圓二等兇器五圓但  
邏卒多ケレハ前例ニ準ス傷痕ヲ被ル者ハ其時  
ノ景況疵傷ノ輕重ニ從テ療治料トシテ金五圓  
ヨリ十圓ヲ給ス但此傷痕ヲ論スル豫メ兇器ヲ  
携ル盜ニ對スルモノ、事ニシテ不意ニ竊盜ヨ  
リ疵ヲ受ルモノハ此例ニアラス此概例書ヲ付  
シテ回答セリ五月二十七日

第二十八號

正院へ在横濱「シヤツパン」メーレルへ外國新聞紙

用達ヲ命スルノ儀ヲ本月二十五日進呈セシカ  
右ハ速ニ指令ヲラシムラシテ乞フト再陳セリ五月  
二十九日

第二十九號

史官へ當省中各寮局課簿書記名取調出來セシ  
ニ付即チ租稅戶籍紙幣統計検査驛遞記録諸寮  
及ヒ諸務局職務受付往復傳票用度負債課度量  
改正掛附屬書記右管至簿書記名十六綴造幣寮  
ハ遠隔ノ場所故急ニ取調難タキ段五月二十七日  
日進達シ又土木出納二寮ノ文書ハ六月二日進

達セリ六月  
二日

第三十號

左院ヨリ當院備書籍斂鳴辨理公使へ依託ノ今  
代價勘定ノ儀外務省ヨリ來議アルニ其頃取扱  
ヒレ者追々轉任其書類相見へサルヲ以テ受取  
過金等ノ始末不分明ナルカ故ニ貴省ノ調査ヲ  
乞フト商議アリ乃テ代價過金ノ儀ハ相分り難  
タレト云へレ英佛法律書制度局備書官買代價  
允積ヲ以テ去ル辛未七月五日洋銀千弗ヲ交付  
セレ事之レアリレト回答セリ六月  
二日

第三十一號

外務省ヨリ、紐育在留日本副領事富田錢之助來  
牒中ニ「ウヨルクバンク」へ大藏為替代理ヲ申付  
ルノ儀記載セリ因テ當省ヨリモ同所<sup>ニ</sup>在留領事  
へ一應達旨セサレハ後日ノ支障アラシモ計リ  
難タキニ付改メテ申牒アルへレト商議アリ乃  
テ右ハ岡本大藏大丞澳國博覽會事務取扱ヒト  
レテ茂朝ノ路次米國經過ノ序ニ「オフトデイク」へ  
為替代理申付ケレ儀ハ米國公使吹峯ノ趣モア  
リ且「バンク」ノ強弱ハ種々探知穿鑿ノ上申付ル

儀ナレハ右ノ付贈答ノ書類ヲ回進スヘキニヨ  
リ了承アルヘシト回答セリ六月

第三十二號

史官ヨリ府縣目安箱當今ニ至リテ有益ナルヤ  
トノ高議アリ乃チ當今全ク無用ニ屬セシトノ  
議モ聞カサレモ自今廢毀シ然ルヘシトノ旨回

答セリ六月

第三十三號

史官ヨリ外務省申牒スル所ノ先年東伏見宮渡  
英ノ節同國公使館書記アストシ諸事周旋セシ

ヲ以テ報酬ノ為メ贈品ナレタキ旨外務省ヨリ  
稟候ノ上許可アリ右代價ヲ給スヘキト貴省ヘ  
達セシナラン然ルニ外務省ヨリ受取ニ出シ時  
正院ヨリノ達旨ナキヲ以テ給シ難タキ回答ナ  
ルヨシ其故事如何トノ高議アリ乃チ嚮ニ外務  
省伺ニ依テ右ノ儀下問ニ付當省異存ナシト云  
ヘ氏品物代ハ宮内省ヨリ給典シ然ルヘキ旨上  
陳セシニ後又當省ヨリ給付スヘキノ下命アリ  
ト云ヘ氏右渡英費用一切當省ヨリ支給セシニ  
彼地ハシク破潰ニ及ヒ之レカ為ニ百磅損失ニ



至リ彼是冗餘ノ出額ユエ此回贈賜ノ今ハ宮内  
省定額ノ内ヨリ給シ相當ナル由具陳セシニ其  
後何等ノ達旨ナキヲ以テ趣旨如何ヲ知ラサリ  
シニ更ニ外務省ヨリ受取方申来レリ因テ正院  
ノ達旨ナキ旨回答ニ及ヒレナリト回報セリ  
日ニ

第三十四號

正院ハ地方官轉任ノ後舊職中事務引繼ノ為ニ  
舊官廳ハ往來センヲ請フハ本年百七十一號  
公告ノ旨アリト云ヘ凡甲縣ノ長官乙縣ノ長官

ニ轉任スルニ乙縣ノ次官ヨリ辭令ヲ達スルノ  
條理アルヘカラス因テ地方ノ儀ハ他官省ト異  
ニシテ遠隔ノ場實際差支モ尠ナカラス故ニ轉  
任ノ際其都合上陳スヘキニ付正院ヨリ下命  
リタキ旨具陳セリ  
五月六日

第三十五號

外務省ヨリ嚮ニ宗從四位朝鮮通交ヲ罷メシニ  
由テ公私貿易現品處分ノ儀ヲ正院ハ稟候セシ  
ニ廢損減欠ノ品ハ賣却シ代金ハ貴省ヘ納ムヘ  
キトノ指令アリレヲ以テ定メテ貴省ニ於テ處

精練狀

置調濟ナルヘシ然ルニ腐損ノ品物ハ當省出仕  
ノ者請フニ由テ賣興ヲ許サントスレ氏貴省ノ  
意見ヲ聞ントノ商議アリ此ニ於テ公貿易現在  
品其他同國負債消却濟殘品銅類外諸品共彼地  
ニ於テ賣却シ右代金當省ニ受納スヘク尤貴省  
ノ便宜ヲ以テ草梁公館費ノ内ニ為換繰込ノ儀  
ハ當省ニ於テ異議ナキニ由リ明細勘定書ヲ差  
越サルヘク且公私貿易現在品代價七千餘圓ノ  
分公私負債ノ區別判然タラサレハ處分ニ難  
タキヲ以テ差向キ腐損欠減ノ憂アル物品ノニ

急速賣拂ヒ代金取纏メ當省ニ納ムヘシ宗氏負  
債ハ即今調査中追テ前頭七千餘金モ公私ノ際  
ヲ立テ申牒スヘキ旨兼テ正院ニ具陳ノ趣モア  
ルニ付右ニテ委細了兼セラレト回答セリ

六月  
八日

### 第三十六號

史官ヨリ諸官省使察司公用地々券ノ儀ニ付伺  
濟ノ書類并ニ券狀雛形各所公用ノ為メ派出ス  
ル備入外國人監護等昨午申正月中上達并御沙  
汰書寫所用ニ由リ進呈アルヘシトノ商議アリ

乃テ取束子進送セリ六月八日

第三十七號

正院へ新潟柏崎両縣合併ノ儀新潟縣令楠本正隆ヨリ建議アリ右ハ曾テ柏崎縣ヨリモ同議ヲ請ヒ両縣實地便宜ノ見込ナレハ合併セラレ然ルヘキニ付達旨案公告案ヲ付レテ稟候セシニ乃テ許可ノ指令アリ六月九日

大蔵省考課状

府縣雜科ノ部

明治六年四月ヨリ六月ニ至ル

目次

第一號

白川縣ヨリ舊八代縣地方請取ノ申報

第二號

敦賀縣ヨリ舊豆羽縣合併ニ付布告書類下付ノ稟候

第三號

度會縣ヨリ先納金下戻ノ儀ニ付稟候

第四號

東京府ヨリ各寮、出頭ノ官員更代ノ稟候

第五號

鳥取縣ヨリ布告書類活版費用交付ノ稟候

第六號

福岡縣ヨリ奏任官上京ノ儀ニ付稟候

第七號

三重縣ヨリ貸坐敷藝者遊女規則ノ稟候

第八號

愛媛縣ヨリ舊縣地所受取ノ稟候

第九號

山形縣ヨリ舊縣宅所屬ノ諸道具賣拂代金  
處分ノ稟候

第十號

神奈川縣ヨリ米國領事申送セル馬傳淋病ノ  
稟候

第十一號

岩手縣ヨリ進達用紙ノ儀稟報

第十二號

青森縣ヨリ吉井前自殺ノ申報

卷之三

三

第十三號

三渚縣ヨリ縣ノ官負検査察、轉用ノ稟候

第十四號

豐岡縣ヨリ分間罟械買入ノ申請

第十五號

東京府ヨリ横田彦右衛門等穀物賣買ノ儀

付稟候

第十六號

酒田縣ヨリ土屋直温自殺ノ報告

第十七號

茨城縣ヨリ會議所設立ノ稟報

第十八號

茨城縣ヨリ椅子ヲアツル代料下付ノ稟候

第十九號

京都府ヨリ牛傳染病ノ申報

第二十號

山梨縣ヨリ水晶石試鑿願人ノ申報

第二十一號

山形縣ヨリ河島清見習、為メ出省ノ稟候

第二十二號

卷之三

三

水部

水部

静岡縣ヨリ三井八郎右衛門、為換方ヲ命セ  
ント、稟候

第三十三號

福岡縣ヨリ検査寮、見習ノ者出仕ノ稟候

第二十四號

兵庫縣ヨリ井筒屋七郎右衛門身代取締解放  
ノ報知

第二十五號

兵庫縣ヨリ鳥獸獵延期ノ稟報

第二十六號

大阪府ヨリ各寮用地ヨリ市中入費下付ノ稟  
候

第二十七號

宮崎縣ヨリ布告全書拂下ノ稟候

第二十八號

北条縣ヨリ布告書類活版施行ノ稟候

第二十九號

新潟縣ヨリ測量器械買入ノ稟候

第三十號

福岡縣ヨリ出納表ノ類下付ノ稟候

水部

第三十一號

山形縣ヨリ諸課表梓紙等下付ノ稟候

第三十二號

岩手縣ヨリ司法者日誌買上ケノ稟候

第三十三號

廣島縣ヨリ石代間金民費ノ内、遣拂ノ稟候

第三十四號

山梨縣ヨリ測量器械買入ノ稟候

第三十五號

島根縣ヨリ廳中備品其外金額下付ノ稟候

第三十六號

神奈川縣ヨリ馬病流行報知ノ申報

第三十七號

磐前縣ヨリ久住五左衛門、為換方ヲ命スルノ申報

第三十八號

島根縣ヨリ舊廣瀬縣仕拂未下付ノ稟候

第三十九號

長崎縣ヨリ魯國親王ヨリ洋銀贈與ノ儀正院、上陳ノ稟候

馬標狀

大藏省

大藏省

第四十號

長寄縣ヨリ魯國親王滯港中顛末ノ儀申報

第四十一號

新治縣ヨリ各省ノ官莫管内、出張ノ莖文書  
往復等賃錢ノ儀ニ付稟候

第四十二號

山梨縣ヨリ蚕種規則書五十部下付ノ稟候

第四十三號

青森縣ヨリ諸受取物為替切手納ノ儀ニ付稟  
候

第四十四號

愛媛縣ヨリ各寮課所用ノ表紙下付ノ稟候

第四十五號

廣島縣ヨリ地券稅方ノ儀正院、上陳ノ稟報

第四十六號

滋賀縣ヨリ蛭谷村木地職由緒物下付ノ儀稟  
候

第四十七號

長寄縣ヨリ國旗棹入費金下付ノ稟候

第四十八號





愛知縣令鷲尾隆聚ヨリ若松縣、下向ノ稟候

第四十九號

相川縣ヨリ年齡月數ノ儀ニ付稟候

第五十號

豐岡縣ヨリ福知山城ヨリ掘出セル古器物ノ

儀ニ付稟候

第五十一號

石川縣ヨリ白山折村々領取ノ申報

第五十二號

置賜縣參事關義臣ヨリ舊任ノ事務引渡ノ為

ノ鳥取表、下向ノ稟候

第五十三號

愛知縣舊権令井關盛良ヨリ事務引送ノ為ノ

縣地、下向ノ稟候

第五十四號

神奈川縣ヨリ大關増勤等米國ヨリ帰朝ノ節

内國人連帰リニ處置ノ稟候

第五十五號

水更津縣ヨリ布達書類重刻ノ稟候

第五十六號



入間縣ヨリ廢刀説論ノ儀ニ付稟候

第五十七號

福島縣ヨリ測量器械買入ノ稟候

第五十八號

長崎縣ヨリ島雄益城出京延期ノ稟報

第五十九號

和歌山縣ヨリ牛傳汚病ノ申報

第六十號

濱田縣ヨリ檢地等ノ節物持支賃錢ノ稟候

第六十一號

鳥取縣ヨリ典事名印ニテ進達ノ稟候

第六十二號

岡田平蔵ヨリ海外輸出米押下ケノ申請

第六十三號

濱松縣ヨリ諸布達書上水費用ノ稟候

第六十四號

川倉縣ヨリ布達書活版施行取計ヲヒノ稟候

第六十五號

秋田縣ヨリ牛馬税金及ヒ備馬入費等ノ儀

付稟候

時錄

大藏

第六十六號

濱田縣ヨリ港内規則等重刻入費ノ稟候

第六十七號

群馬縣ヨリ物産新開市ノ儀ニ付稟候

第六十八號

愛知縣令滞京ノ稟候

第六十九號

大分縣ヨリ鶴寄驛遞所入費下付ノ申請

第七十號

山形縣ヨリ布達書類下付ノ稟候

第七十一號

濱田縣ヨリ書状遞送費用ノ稟候

第七十二號

山梨縣ヨリ小野善助、貢金取扱ヲ命セント

ノ稟候

第七十三號

豆柄縣ヨリ布告書重刻ノ稟候

第七十四號

敷賀縣ヨリ布達書類頒布費用ノ稟候

第七十五號

二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

宮城縣ヨリ娼妓藝妓規則ヲ立允許ノ申報

第七十六號

山梨縣ヨリ管内布告書類重刻ノ儀稟候

第七十七號

神奈川県ヨリ郵便賃錢取計ヲヒノ申報

第七十八號

青森縣ヨリ諸書類用紙ノ儀ニ付稟候

第七十九號

神奈川県ヨリ布告書類活版費用ノ稟候

第八十號

熊谷縣ヨリ舊群馬入間両縣事務受取ノ稟報

第八十一號

名東縣ヨリ香川縣事務請取ノ稟報

第八十二號

岩手縣ヨリ舊盛岡縣引送ノ己巳以来全數不正ノ儀ニ付稟候

鳥取

大

蔵

大藏省考課狀

第一號

大藏省考課狀

府縣雜科ノ部

明治六年四月ヨリ  
六月ニ至ル

第一號

白川縣ヨリ八代縣當縣へ合併ニヨリ郷村地所物  
成等本月十七日悉皆受取りシトノ申報アリ  
四月四日

第二號

敦賀縣ヨリ此田足羽縣當縣へ合併シ管地廣大ナ  
ルカ故ニ旧福井縣ヲ支廳トセリ因テ此マテ足羽  
縣へハ付スル所ノ諸布告書日誌等ヲ合マテ當縣  
へハ付マリタシトノ稟候アリ是ニ於テ候スル所

大藏省

考課狀

ハ許可シ難キニヨリ不足ノ分ハ民費ヲ以テ買上  
ヘシト指令セリ四明

第三號

度會縣ヨリ旧度會縣下伊勢国三重縣四日市宿村  
田改延外二十四人ノ者去ル丁卯ノ年旧幕府ノ指  
揮ヲ以テ租税金ノ内先納トシテ金八千兩上納ナ  
ヤリ然ルヲ戊辰十二月旧大津縣ニ於テ同年ヨリ  
無利息五ヶ年賦下戻スヘキ旨會計官ノ許可ヲ得  
シヨシ旧度會縣へ申送り己巳年ヨリ取行ヒシニ  
ヨリ去ル辛未年分金千六百兩ノ切手下付ヲ請フ

トノ稟候アリ因テ旧幕府諸般ノ貸附金等棄捐ノ  
旨向キニ布達アルニ付ハ戻金ノ儀下付スルニ及  
ハサル旨指令セシニ右金ハ既ニ辛未貢金ヲ以テ  
同年冬交付セリ而シテ貸附金棄捐ノ布達ハ申  
五月ニアリ故ニ今更引戻方之ナキニヨリ候スル  
所允許ヲ請フト再候アリ此ニ於テ請フ旨出格ノ  
儀ヲ以テ右金額下付スルニヨリ申當省第百七  
十四號布達ニ照準シ請納方取計フヘシ但以後下  
付スル儀ハナリ難シト指令セリ四明

第四號

御物

東京府ヨリ収税金穀出納等ノ儀ニ付十等出仕細  
井保各寮へ出頭シテ関涉ノ事務ヲ取扱シテ此回  
同人へ公債掛ヲ命セシニヨリ以後ハ加藤少属増  
村権少属及ヒ出納課ノ者出頭スヘキニヨリ其改  
豫ノ各寮ニ達シテ了シトノ旨稟報アリ  
四月

第五號

鳥取縣ヨリ管内へ頒布スル所ノ布告書類從來  
々謄寫セシカ誤脱等ノ患少ナカラマ故ニ壬申六  
月中貴省及ヒ文部省へ稟候ノ上活板ヲ以テ摺立  
管内各區へ頒布シ且ツ請フ者アレハ別ニ摺立賣

興シ来リシニ此由東京日報社ニ於テ上ホセシテ  
各縣へ十部宛下付シ且人民ノ用ニ供スル者ハ民  
費ヲ以テ買上ヘシトノ布達アレヒ同社ノ上ホハ  
傍訓等ナク自然人民了解シ難キニヨリ従前ノ如  
ク縣廳ニ於テ便利ノ上ホヲ施行シ其費用ハ第一  
常備金ヨリ仕拂フヘキ所諸費多端ノ折柄ニ付別  
途ニ交付ヲ請フトノ稟候アリ是ニ於テ右摺物ハ  
民費タルヘキ旨指令セリ  
四月  
九月

第六號

福岡縣ヨリ奏任官上京ノ儀向キニ布達ノ趣アレ

氏當縣ノ如キハ東京ヲ距ル丁三百里ニシテ簡書  
ノ往復ニ敷多ノ時ヨリ費ス故キ稟候ヲ經テ上京  
スレバ事機ヲ失フ丁尠ナカラズ或ハ公事ニ托シ  
テ自ラ便ヲ計ル者ノ如キハ其事跡ニヨリ事ノ緩  
急ヲ量リ其進退委任アリタレトノ稟候アリ是ニ  
於テ進退委任ハ許可シ難シ但事實切迫ノ急務  
ラバ稟候ヲ經ス出京スル丁妨ケナレト指令セリ  
十四日

第七號

三重縣ヨリ此回貸座敷及ヒ藝者遊女渡世規則ヲ

立テ差許セシ旨規則書ヲ副テ稟報アリ十四日

第八號

愛媛縣ヨリ神山石鐵兩縣地所物城鄉村等悉皆受  
取三月廿三日ヨリ松山表へ縣廳ヲ開キ事務取扱  
レ別ニ旧官負ノ内神山縣ヨリ十八人石鐵縣ヨリ  
二十三人ヲ撰ミ残務取扱ヒラ命セシトノ稟報  
十四日

第九號

山形縣ヨリ旧縣ニ於テ官宅附屬ノ諸道具ヲ買入  
算ニ常備金ノ内ヲ以テ仕拂ヒ置キレ所入札拂ニ

山形縣  
大藏省



取計ニ勘定組ニ立ルノ儀ヲ稟候セシニ付諸道具  
第二常備金ヲ以テ買上ハ規則ニ乖戾セシニヨリ  
聴取ニ難ク因テ旧官員主任ノ名簿取調フヘク稟  
候シ入札拂ニ取計セシハ不都合ナレバ此面限り  
聴取スヘキニヨリ賣却ノ代金早々上納スヘシト  
指令セシキ付主任ノ人ヲ取調且入札拂代金上納  
ノ處分ヲ再候アリ是ニ於テ旧官員規則外ノ取計  
ト不都合ト雖此事既往ニ属セルニ付特別ヲ以テ  
聴取スヘシ賣拂代金五十五圓五十五匁四厘ハ第  
ニ常備ノ戾シ不足ノ分金百七圓十三匁三厘ハ爲

拜日ヲ以テ交付スヘキニヨリ至申當省百七十四號  
布達ニ照準シ請納方取計フベシト指令セリ  
四月  
十三日

第十號

神奈川縣ヨリ米國郵便船ニテ在米國領事代務ト  
シヨリ向キニ「エ」ボツナツクト唱フル馬病當地  
ニ於テ傳添ノ風説アリシニヨリ日本ヘモ渡来ス  
ヘキニ付豫防ノタメ當領事廳ヨリ報知スルマテ  
横濱并ニ各港ニテ馬陸揚ケハ差留メ然ルヘキ旨  
税關長官ヘ達シアルヘキ旨申牒セシニ此面ノ郵  
便船中ハ馬ハ右等病状アル者ナキニヨリ極壯健

神奈川

大藏

ノ分ハ日本各港へ陸揚ケアリテ然ルヘシトノ報  
知アリ是ニ於テ其趣ヲ正院へ上申シ又各税関へ  
モ達シ置ヘシト祖税頭へ申送セリ  
四月十日

第十一號

岩手縣ヨリ諸進達書総テ美濃罫紙ヲ用ケ来ルト  
虽此郵便ニ托スルニ量目ヲ増シ入費勤ナカラザ  
ルニヨリ以後雁皮紙美濃紙花菱ニ適宜ニ用フヘ  
シトノ稟報アリ乃チ報スル所ノ如ク聴取セリ  
四月

日十五

第十二號

青森縣ヨリ元福山出張所詰當縣吏生吉井前チ  
ル者三月五日自殺セシニ付開拓使官負立會檢  
視セシニ嘗テ擔當スル處ノ陸軍武庫司ヨリ預  
リ置キシ兵器今般開拓使へ引送ルヘキニ付調  
査スルニ調高簿冊ト違乖アルニ由テ深ク恐懼  
スル趣ヲ認メ遺シ自カカリ因テ兵器調高違乖  
ノ分ハ追テ詳細取調進達スヘシトノ申報アリ

四月十七日

第十三號

三浦縣ヨリ去チ申秋稟候ヲ經テ當縣等外一等

中村要次ナル者見習ノ為メ出納寮、出仕ヲ請  
ヒシニ數月ヲ經ルニ付本月ヨリ検査寮、轉換  
ナシタキトノ稟候アリ乃チ廳取スルニヨリ同  
寮、出仕ヲ命スヘシト指令セリ 四月十  
八日

第十四號

豊岡縣ヨリ地所坪數取調ノ為メ分間畧械一組  
代金五十圓六十二錢宛ヲ以テ二組買入タキニ  
ヨリ右金交付アリタキ旨申請アリ乃チ第一常  
倫金ヲ以テ買入方取計フヘシト指令セリ 四月十  
八日

第十五號

東京府ヨリ横田彦右衛門外五名ノ者ヨリ賣買  
ノ義ニ付申請ノ趣アリ然ルニ會社ニ類似スル  
ヲ以テ願書ヲ還付セシ處再ヒ方法ヲ更ニテ申  
請セリ右ハ向キニ黒川新次郎等ノ稟意ニ指令  
ノ例アリト雖氏一應稟候スト乃チ候スル所ハ  
黒川新次郎、指令ノ如ク官府ニ於テ關係ス、  
カラサル旨指令セリ 四月十  
九日

第十六號

酒田縣ヨリ當縣貫屬土屋直温ナル者新沼縣、  
出仕ニ付茲途セシニ福島縣下本宮驛ニ於テ故

ナク自殺セシニ由リ官負ヲ以テ検屍セシムルニ全ク羨狂シテ自殺セシニ疑ヒナキ旨ヲ具状シ同縣ヨリ申送セリト報告アリ四月廿日

第十七號

茨城縣ヨリ管内便宜ノ地セケ所ヲ撰ニ會議處ヲ設ケ副戸長以上ヲ會シ時々令參事等臨席シ諸布告書ノ意旨及ヒ勸農等ノ儀ヲ詳論シ且人々ノ意見ヲ建議セシノ開化ノ誘導ノ一助ヲ謀リタキトノ稟報アリ四月十九日

第十八號

茨城縣ヨリ縣廳處用ノ椅子タラブル買上代金二百三十二圓五十四錢一厘常備金ヨリ仕拂ノハキノ所新縣創立ノ際費孔多端ニ有常備金不足ナルヲ以テ別途ニ下付ヲ乞フトノ稟候アリ是ニ於テ右ハ第一常備ノ仕拂トニ屬スレトモ至申分ハ既ニ勘定仕上ニ有當年分ノ内ヲ以テ仕拂フヘシト指令セリ四月三十二日

第十九號

京都府ヨリ頃口府下牛傳染病流行ニ既ニ上京二十二區牛車渡世ノ者持牛四十一頭斃死セリ

勸業課  
大藏省

因テ府下ノ牧場ニ於テ横濱在留ノ外國牧師ヲ  
イリト雇入治療ヲ施行セシムルニ其方法適當  
ヤリト見、即今病根絶タリト其方法書ヲ副テ  
申報アリ因テ其顛末ヲ文部省、報知セリ  
四月二  
十三日  
第二十號

山梨縣ヨリ甲斐國山梨郡上下帶那村黒平村入  
會山字向山ニ水晶石發露スル趣ヲ以テ甲府監  
近習所上野作平試鑿ノ儀ヲ申請セルニ付其村  
々ニ尋問スルニ支障ナキニ由リ其旨ヲ廳取セ  
リ寶石ヲ掘得ニ及ハ、急速申牒ス可キ旨達セ

シト稟報アリ  
四月二  
十三日

第二十一號

山形縣ヨリ十一等出仕河島清貴省各寮司ノ休  
裁見習ノ為メ日々出省ヲ乞フトノ稟候アリ乃  
テ候スル處廳取セリ  
四月二  
十七日

第二十二號

静岡縣ヨリ貢金其外工納金是マテ舊藩ノ仕来  
ヲ以テ取計ヒ来リニ所此回三井八郎右衛門  
為換方ヲ命シ一切取扱ハセンテ稟候セリ乃  
テ候スル處ハ廳取ス可キニヨリ嚴重茶約ヲ立

勸業課  
大藏省

勸業  
勸業  
勸業  
勸業

後米不都合ナキマウ注意スヘシ且追テ一般ノ規則ヲ設ケルマテハ為換證書ノ其節交付セシ貨幣ノ種類詳記スヘシト指令セリ  
四月廿五日

第二十三號

福岡縣ヨリ當縣石橋少屬以納勘定ニヨリ滯京セシニ依テ見習ノ為メ當分検査寮ノ出仕セシメタキ旨稟候アリ乃チ候スル所ヲ聴取セリ  
四月廿五日

第二十四號

兵庫縣ヨリ管下神戸東本町并筒屋七郎石衛門

舊金澤縣設立ノ為換會社ヨリ借金ノ儀ニ付當人身代取締方去壬申五月中達シアリニ今回解放ス可キノ命ニヨリ當四月具旨ヲ達セント

報知アリ  
四月廿八日

第二十五號

兵庫縣ヨリ管内山間ノ村々ハ鳥獸ノ為メニ農作ヲ害スル者尠ナカラサルニ由リ鳥獸獵規則第十三条但書ニ基キ十月一日ヨリ四月卅一日マテ延期ヲ許セシ旨稟報アリ  
四月二十三日

第二十六號

勸業  
勸業

大藏省  
大藏省  
大藏省

大阪府ヨリ府下在来ノ舊諸藩工部當時出納租  
税両寮持ノ分ハ市中諸入費等下付ノ儀去申  
三月中許可アル所司法裁判處鎮臺鐵道驛遞傳  
信諸寮處持ノ場モ同一ニ下付アラシク請  
トノ稟候アリ是ニ於テ驛遞寮用地ハ入費下付  
ノ可キニ有其他ノ所管ノ各省ノ申候ス可シト  
指令アリ四月二十九日  
第ニ十七號  
官寄縣ヨリ會計官民部省大藏省等ノ布告全書  
記録登ニ於テ刊行ノヨシニ付二部拵下ケテ請

トノ稟候アリ是ニ於テ右書籍ハ書籍原屋  
茂兵衛ノ發賣ヲ許シヨリ書肆ヨリ買入ル  
ヘシト指令セリ四月二十九日

第ニ十八號

此糸縣ヨリ諸布達類管内ノ布告スルモノ活版  
ヲ以テ摺立其費用ハ民費ニ課シ不都合ナキヤ  
ウ取計ハシトノ稟候アリ乃テ候スル所ヲ聴取  
セリ五月二日

第ニ十九號

新治縣ヨリ開墾入用ノ為メ測量器械ヲオトテ

大藏省

勸業課  
大藏省

イ、ト一具買入ノ儀向キニ稟候セシニ其器械代價等取調再候スヘキ旨指令ニヨリ調査スルニ右器械ノワートルパスニノ兼倫ニテ代價凡百六十圓ナルニ由リ買上ラレシトシ再候アリ乃チ候スル所允許スルニヨリ第一常倫金ヲ以テ仕拂ノヘシト指令セリ  
五月二日

第三十號

福岡縣ヨリ出納審金穀出納表並ニ傳票ノ類本省各寮ノ分各一枚下付ヲ乞フトノ稟候アリ乃チ候スル所聽取スルニ由リ屬一人出省アツテ

申合セノ上請取ヘシト指令セリ  
五月二日

第三十一號

山形縣ヨリ當縣各課事務取扱方貴省ノ体裁ニ效ヒ内規則ヲ立ント要ス故ニ貴省諸課ノ表類梓紙等各ニ枚下付ヲ乞フトノ稟候アリ乃チ候スル處聽取スルニ由リ屬一人出頭請取方取計ヲヘシト指令セリ  
五月二日

第三十二號

岩手縣ヨリ司法省發兌ノ日誌ハ同省布達其外諸縣ノ指令等記載アツテ聽訟事務上ニ控テ

勸業課  
大藏省



心用、品タリ然ルニ當縣ハ未タ裁判處ノ設ナ  
 キニヨリ日誌等下付ナキニヨリ自然齟齬ノ虞  
 モアラシニ因テ第一常備金ヲ以テ買上テ可ナラ  
 シヤトノ稟候アリ乃チ候スル所聴取セリ  
 五月三日

第三十三號

廣島縣ヨリ管内石代相場ノ儀申千三百五十  
 四號指令ニ基キ五ヶ所平均相場ヲ定メ又土地  
 善惡米價高位ニヨリ各地ノ相場ヲ以テ上廻方  
 取計ヒシニ多分ノ石高故惣平均ニ至リ金過八  
 十圓二十錢ニ厘ヲ餘セリ因テ堤防橋梁等民費

修繕ノ内、遣拂可ナラシヤト、稟候アリ乃チ  
 候スル處、如ク處分ス可キ旨指令ヒリ  
 五月三日

第三十四號

山梨縣ヨリ水陸運輸堤防水利ノ用ニ備ヘ且向  
 キニ公布アリシ地理誌編輯ノ為メ管内ノ地勢  
 詳細取調、ノ為メ實測地圖ヲ編製セント欲ス  
 然ルニ測量器械ヲ欠クニ由テ右器械六箇買入  
 代金大凡五百八十圓別途ニ下付アラシイテ請  
 フトノ稟候アリ是ニ於テ候スル處ハ先ツ在末  
 國製ノ器械ヲ用ヒ實際已ヒテ得サルノ事アリ

右器械ノ内十分減省ノ見込ヲ立更ニ稟候スヘ  
シト指令セリ 五月五日

第三十五號

島根縣ヨリ壬申三月ヨリ十月マテ舊令參事ノ  
取計ヒテ以テ廳中備品及ヒ舊三縣殘務掛ノ者  
、手當金其他賞典等給付セシ分稟候セヌ取計  
ヒシハ不都合ナリト雖氏施行後ノ事ニ付特ニ  
置金外仕拂ニ取計ヒタキ旨向キニ稟候セシニ  
右ハ件々次第柄詳細取調申渡スヘシトノ指令  
アリ因テ仕譯書、下ケ札ヲ付ケ更ニ候出シテ

指揮ヲ請フ此ニ於テ再候スル所不都合ナリト雖  
氏既往ノ儀ニ付聴取シ金三百四十五圓四十八  
錢五厘為換ヲ以テ交付ス可キニヨリ壬申當省  
第百七十四號布達ニ照準シ請納方取計フヘシ

ト指令セリ 五月五日

第三十六號

神奈川縣ヨリ代理領事トシヨリ當今「エヒソ  
チツク」ト唱フル馬病「カリ」ナルニヤノ南方并  
ニ内部、流行スレ氏「リ」ラシニス「コ」ハ未タ  
流行セワリ旨報知アリトノ申報アリ乃チ具赴

正院、進達セリ五月五日

第三十七號

磐前縣ヨリ當縣貢金等為替取扱小野善助、余  
ニ置キシニ一人ニテ不便ノ事アルニヨリ別ニ  
東京深川佐賀所久住五左衛門、命ニ以後兩人  
ニ取扱ハス可キ旨申報アリ乃チ報スル處聽取  
スルニ付追テ一般ノ規則ヲ設クルマテ嚴重約  
束ヲ立テ不都合ヲ生セサルマツ注意ス可シト  
指令セリ五月七日

第三十八號

島根縣ヨリ舊廣瀨縣管下飯石郡赤名嶺原兩驛  
馬代米及ヒ同郡掛處給同郡八神村救助米合十  
七石九斗九升一合ニ勺辛未ノ歲入ヲ以テ仕拂  
シ分旧縣ヨリ明細書ヲ以テ引送レリ因テ右米  
高下付ヲ請フト、稟候アリ是ニ於テ右處分不  
条理ノ件アリト雖氏既往ノ事ニ付此回限り下  
付スルニヨリ壬申當者第百七十四號布達ニ照  
準シ請納方取計ノヘシト指令セリ五月十三日

第三十九號

長岑縣ヨリ四月中魯國親王當港退帆ノ筈澤全

勅諭

勅諭

権公使一同送別ノ為メ其繼ニ至リシニ親王ヨリ欣悦ノ意ヲ表セン為メ縣下ノ貧民、洋銀四百弗ヲ贈與シタキ趣ヲ述タリ此回同國領事代ヨリ右銀弗、書翰ヲ副テ送致シ且貧民、配當ノ方法等回答アラハ更ニ幸甚ナル趣未辨セリ因テ奉問ノ上處分ノ儀追テ報知スヘシト回答セル趣正院、上陳セントノ稟報アリ  
五月十三日

第四十號

長岑縣ヨリ魯國親王滯港中ノ始末及ヒ澤全権公使等待遇ノ儀ヲ畧記シ申報アリ乃チ其趣副

書ヲ以テ正院、上陳セリ  
五月廿日

第四十一號

新治縣ヨリ管内、文書往復ノ賃ハ民費ニ課ニ管外、跨カリシハ官費タルヘキノ公布ナリ然ルニ或ハ諸省ノ官費管内、關涉セサル事務ニ由テ管内、来リ文書等往復ノ節其賃錢ハ管外ノ例ニ準シ官費ニ立テ然ル可キヤトノ稟候アリ是ニ於テ右ノ類ハ其出張ノ官費ヨリ請取仕拂フヘシト指令セリ  
五月二十日

第四十二號

勅諭

勅諭

山梨縣ヨリ諸布達書類管内、須布ノ分容易ニ  
騰寫成リ難ク且脱誤等モ尠ナカラサルニヨリ  
上水ニテ施行セントスルニ彫工ニ乏シク一時  
ニ辨シ難シ且蚕種取締規則ノ如キ已ニ養蚕ノ  
節ニ迫レハ至急布達スヘキニ大冊ニシテ殊ニ  
容易ナラス因テ右規則書五十部下付アリタシ  
テ請フ且向後共大冊ノ分ハ前數下付アリタシ  
トノ稟候アリ是ニ於テ蚕種規則ハ書肆須原屋  
茂兵衛、發賣ヲ許可シ置キシニヨリ同人方ヨ  
リ購求スヘシト指令セリ  
五月二  
十日

第四十三號

青森縣ヨリ堤川橋燒失ニ付船渡水夫賃里程改  
正標木代舊知前縣士旗岡兵一服葦料舊斗南縣  
士旗山川浩兵庫出張旅費及ヒ舊六縣學校費共  
向キニ為替切手ヲ以テ租税ノ廉、上納ヒシ處  
壬申百七十四號布達前ニ付為替ニテ上納スル  
ハ不都合ノ趣達旨アリ故ニ右租税納ノ義取消  
シアルカ又ハ一旦下付アリテ追テ清算勘定ニ  
立ヘキカ至急指揮ヲ請フトノ稟候アリ是ニ於  
テ第二常備金ノ内ヲ以テ兌換スヘキ旨曾テ指

勅諭

勅諭

令セシテ稟候ヲ經スレテ為換切手差出ニ殊ニ  
學校費ハ既ニ赤符下付ノ處再ヒ為換切手差出  
シ不都合ナリト雖モ勘定組支障アルハキニ付  
學校費ヲ除クノ外四口合金百八圓七十一錢一  
厘下付スルニヨリ以納寮ヨリ報知次第請取ヘ  
シト指令セリ  
五月二  
十五日

第四十四號

愛媛縣ヨリ貴省各寮課ニ於テ用ユル處ノ表紙  
當縣ニ於テモ模造スヘキニヨリ一枚宛下付ヲ  
請フトノ稟候アリ乃チ候スル處聽許スヘキニ

ヨリ屬一人出省方合ヒノ上請取ルハキ旨指令  
セリ  
五月二  
十七日

第四十五號

廣島縣ヨリ當縣ハ従前ノ税法他ニ異ニシテ既  
ニ改正ノ見込稟候セシ折柄地券發行ノ儀公布  
ニヨリ掛リ官費ヲ設ケ晝夜其事ニ従ヒ已ニ成  
ルニ重ントス此上速ニ改税法行ハレ偏重偏輕  
ナク公平ノ貢税ヲ定ム一人々企望スル處ナレ  
ハ早ニ右税法施行ノ意見ヲ正院ニ上陳ヒテ旨  
申報アリ  
五月廿  
九日

勅諭

勅諭

第四十六號

滋賀縣ヨリ管下近江國愛知郡蛭谷村筒井公文  
 所ト唱、惟喬親王由緒ヲ以テ木地鞭轡職棟梁  
 ト稱シ綸旨并ニ免許状ヲ所持シ諸國ニ散在ス  
 ル同職ノ者、鑑札ヲ渡シ冥加トシテ同村筒井  
 八幡宮祠宇修繕ノ節入費指出シ来リシニ舊大  
 上縣ヨリ其来由ヲ陳シ向後ノ所分ヲ伺中廢縣  
 ニ付當縣ヨリ添書ヲ以テ稟候セシニ冥加金ハ  
 當年ヨリ廢シ從來継受ノ綸旨免許状等悉皆當  
 縣ノ收入スヘキ旨指揮ニヨリ其趣ヲ達セシニ

一旦上納スト雖氏右ハ傳來ノ重寶改長ノ神庫  
 一、撤シ置キタキ旨祠掌戸長共ヨリ懇願アリ如  
 何處分スヘキヤトノ稟候アリ是ニ於テ正院、  
 稟候ノ上陳請ノ如ク願人、下付シ筒井社庫、  
 納メ置クヲ妨ケタキ旨指令セリ  
五月廿九日

第四十七號

長寄縣ヨリ公布ニ於テ縣廳、國旗棹設立ニ付  
 入費金九十四圓十四錢八厘下付ヲ乞フト、稟  
 候アリ乃チ右金額下付スルニヨリ領受方取計  
 フヘシト指令セリ  
五月三十一日



第四十八號

愛知縣ヨリ警尾隆聚ヨリ此回愛知縣へ轉任ノ  
命ヲ拜セシ慶若松縣在職中取扱事務取纏ヲ引  
渡等ニテ暫時彼地ニ赴キ度キヨシ稟候アリ是  
ニ於テ正院へ至急同人へ指令アリクヤ旨上陳  
セリ  
五月三十一日

第四十九號

相川縣ヨリ太政官日誌第五十三號ニ年齡計算  
ノ儀ニ付濱田縣へ指令ノ中ニ舊曆甲ハ一支千  
ヲ以テ一年トシ其生年月數ハ本年ノ月數ト

通算シ満十二ヶ月ヲ以テ一年トストアリ然ル  
ニ壬申十二月ハ舊曆ニ屬シ月數ニ通算シ然ル  
ヘシヤト稟候アリ乃チ右ハ正院へ稟候スヘシ  
ト指令セリ  
六月二日

第五十號

豊岡縣ヨリ管内福知山城外ヨリ山壺一箇外ニ  
念珠玉形等各種數十箇去ル辛未年間掘出セル  
由シニテ舊藩引送り櫃内ニ蔵セル品アリ右西  
洋舶来ノ品物ニシテ二三百年来ノ古物タルノ疑  
フハカラス稽古ノ一端トモ成ルヘキニ付然ル

書

大

書



五月廿一日

五月廿一日

ハク處分アリタシト稟候アリ是ニ於テ石ハ博覽會事務局、申候ス、シト指令セリ 六月二日

第五十一號

石川縣ヨリ白山社及ヒ麓附牛首村外十七ヶ村當縣管轄仰付ラル、ニ付前月二十九日舊呈羽

縣ヨリ悉皆領取セリトノ申報アリ 六月四日

第五十二號

置賜縣參事關義臣ヨリ此回轉任ノ命ヲ拜スルニ付テハ急速任地ニ赴クヘキノ處鳥取縣在職中ノ事務引渡方ハ面接ナラサレハ不辨ノ事アリ

、因テ急キ鳥取表、赴キ其事務ヲ了スヘキニ

付注渡ヲ除クノ外十日間ノ滞留許可ヲ請フト

ノ稟候アリ是ニ於テ正院、具陳シ速カニ同人

、指揮ヲ乞フト上陳セリ 六月五日

第五十三號

愛知縣舊権令井關盛良ヨリ此回免職ニ付在職

中ノ事務半途ノ件々引送りノ為メ縣地、罷越

シ其事ヲ了シタキトノ稟候アリ是ニ於テ正院

、陳述シ至急同人、指揮ヲ請フト上陳セリ 六月五日

第五十四號

五月廿一日

五月廿一日

神奈川縣ヨリ華族大關增勤外三名未國留學歸  
 朝ノ節亞弗利加ノリス港ニ於テ十五六歳ノ内  
 國人一人漂泊ノ体ヲ見掛ケ尋問セシニ伊勢國  
 一志郡川口村農耕子平助忤鉄次郎ナル者ニテ  
 辛未年ヨリ神戸寄留外國人ゴシト云者ニ雇ハ  
 レアリシカ其妻政州ノ歸國ニ付一同渡海セシ  
 ニリス港ノ上陸ニ逆旅ニ三四泊シ其ヨリカ  
 イロ地方ノ到リニ節石妻ノ意ニ違ヒ歩擲セテ  
 レシニヨリ逃走シリスノ邊ニ狼狽セシ折カ  
 ラ向キニ宿セシ逆旅主人ニ邂逅セシニヨリ前

条ヲ語リ其憐ニ由テ今其宅ニ寄寓セリ冀ハ  
 クハ一同歸朝ナレタキ旨類ニ歎願シ情狀憫然  
 ノ至リニ付此回同船歸國セシ趣ニテ當縣ノ引  
 渡セルニ付假ニ縣下ノ者ノ預ケ置キシ旨稟報  
 アリ是ニ於テ同縣ノ報書ヲ副テ右始末巨細取  
 調申白スヘシト兵庫縣ノ指令セシニ因テ同縣  
 ニ於テ右事件ヲ搜索スルニゴシ氏ハ佛人ニ非  
 ス英人ノ由ニテ同國領事ノ同人始末取調ノ儀  
 ヲ商議セシニ同人此節横濱滞在中ナレハ神奈  
 川縣ニテ取調ノ方便利ナルヘク思フニ當時彼

新報

新報

地ニテ調中ナルハシ若同人同縣ノ調ヲ受ケス  
歸港ニ及ハ、當縣ニ於テ取調速カニ申様スヘ

シト未報アリ  
六月  
七日

第五十五號

本更津縣ヨリ本年第十二號ノ布達ニ基キ港内  
取締規則地所賃入書入規則銃獵規則并ニ爾後  
公布ノ内人民警用ノ条件或ハ速ニ布達スヘキ  
分當縣ニ於テ重刻シ費用第一常備金ヲ以テ社  
拂フヘシトノ要候アリ是ニ於テ府縣ニ於テ重  
刻ノ義ハ各地區々ノ處分ニ涉リ不都合ニ付以

後ハ各府縣ニ於テ重刻スヘキ分ハ其度毎ニ達  
スヘキニ付達セサル分重刻ニ及ハサル旨布達  
セシテ正院、上陳シ裁可ヲ得テ同縣、當省  
第九十五號布達ノ如ク心得ヘシト指令セリ  
八月

第五十六號

入間縣ヨリ管内士庶ノ儀ヲ説諭スルニ  
付テハ佩カシテ管内ヲ往来スル者ハ避卒ヨリ  
糾問スルモアルヘキニ付豫シメ各府縣ニモ  
布達アリタシト説諭書ヲ副テ要候アリ是ニ於

青標天

大蔵省

テ候スル處ヲ正院へ上陳セシニ遷卒ヲシテ佩  
カノ者ヲ糾問セシサル条ハ許可シ難シ但菅下  
士庶脱カテ説諭ノ儀ハ地方實際ノ人情ヲ斟リ便  
宜ノ處分ハ苦シカラストノ附箋ニヨリ乃チ其  
旨ヲ指令セリ六月八日

第五十七號

福島縣ヨリ兼テ全國地理誌編輯ノ為メ國郡地  
理關係ノ儀詳細取調上呈ス可キノ達旨アリ且  
地方ニ於テハ尺ク可カラサルノ要器ニ付方圓  
儀ヲ始メ測量器械買入ヲ請フ因テ允積代金四

百二十一圓二十五錢一時第二常備金ヨリ仕拂  
追テ取束下付ノ義申附スヘシトノ稟候アリ是  
ニ於テ石罾械ハ成ルヘキ丈ク在米國製ノ罾ヲ  
用ヒ若シ實地支障ノ虞アラバ十分減省ノ見込  
ヲ立テ更ニ稟候スヘシト指令セリ六月九日

第五十八號

長崎縣ヨリ管下對馬國嚴原士旆島雄益城向キ  
ニ出京スヘキ旨貴省ヨリ達シノ處去ル辛未年  
間ヨリ中風ノ症ニテ統テ平臥シ居リ急速上途  
ナク難キニ付猶豫ヲ乞フト稟報アリ是ニ於テ

和歌山縣

和歌山縣

同人關涉ノ事件ハ司法省、送達セシヨリ同  
省、專候スヘシト指令セリ 六月十日

第五十九號

和歌山縣ヨリ管内牛傳流病流行ノ儀一月二月  
西度申牒セシ後追テ蔓延シ爾後死亡スル者九  
十三頭ニ及ヘリ然ルニ當今漸ク減少シ五月中  
ハ斃ル、者僅カニ一頭ノニ此景況ニテハ不日  
傳流全ク絶ルニ至ルヘシトノ申報アリ 六月十日

第六十號

濱田縣ヨリ官負五里以内往返ハ日當支給セサ

ル規則ナレ氏檢地其外坪芋等持運セ、者相當  
ノ人呈賃支給シ然ルヘシヤトノ專候アリ乃チ  
候スル如ク第一常倫金ヨリ仕拂フヘシト指令  
セリ 六月十日

第六十一號

鳥取縣ヨリ當縣參事關義臣置賜縣、轉任ニ新  
參事ハ未タ舊任地ニ在リ因テ其際諸進達向權  
參事名印ヲ以テスヘキナレ氏同人在縣ナル  
ヲ以テ典事兩人主任ノ事有テ在京セシヨリ  
至急ノ儀ハ典事名印ニテ進達シ然ルヘシヤト

鳥取縣

鳥取縣

海防

大藏省

專候アリ是ニ於テ典事名印ニテ進達ハ許可シ  
難シ然レモ勘定仕上等閣キ難キ急務ハ候スル  
處ノ如ク取計ヲヘシト指令セリ  
六月十日

第六十二號

岡田平藏ヨリサンフランジスヨ、輸出米菴入  
並ニ運賃積ラケルホリヨリ自分引請ニ命  
セラレ既ニ積入検査済ノ處自分持船初メテ航  
海セルニ付彼地ノ商法實地ヲ試ミ掛引ヲ為ス  
ニ至テハ官米ニテハ十分意ノ如クナラサルニ  
由リ石米ハ拂下ゲテ請ヒ私米トシ但シ官米

ノ名目ヲ以テ輸出ナシタキ旨懇願セリ乃テ請  
フ處聴取スルニヨリ出納寮ハ申出ツヘシ且代  
金上納及ヒ諸入費金千五百十一圓八十三錢二  
厘下付ノ儀ハ諸務局ハ申出スヘシト指令シ出  
納寮、岡田平藏ヨリ申請ノ趣聴取スルニヨリ  
米渡方并亞國ケケルヌホリル、談判向取計ヲ  
ヘシト達旨セリ  
六月十日

第六十三號

濱松縣ヨリ官省布達書管内、頒布ノ分上木ノ  
儀向キニ文部省ノ許可ヲ得テ施行セシニ右彫

果

大藏

省

御  
札  
御  
札  
御  
札

刻五ニ用紙摺工諸入費ハ第一常備金ヨリ仕拂  
可ナラニヤトノ稟候アリ乃チ候スル如ク以  
後ハ當省第九十號布達ノ通り心得ハシトノ指  
令セリ  
六月十日

第六十四號

小倉縣ヨリ諸布達書類管内ノ頒布ノ分活版ニ  
テ摺立施行セシ処管内百三區區長ノ配賦ノ分  
ハ官費ニ仕拂餘ハ民費公課ニ取計ラヒノ稟報  
アリ是ニ於テ官費仕拂ノ分ハ第一常備金ノ内  
ヨリ仕拂ヒ以後ハ本年當省第九十五號布達ノ

通り心得ハシト指令セリ  
六月十日

第六十五號

秋田縣ヨリ舊貫ニ仍リ管外ノ賣出シノ牛馬一  
頭ヨリ十二錢五厘ヲ、收税ニ来リ且前權令島  
義勇在職中牛乳製所ヲ設ケ祭賣ヲ許セリ又至  
急ノ用ヲ辨セン為メ備馬一頭ヲ飼置キ其入費  
ハ牛馬税ヨリ仕拂セシ處此回何レモ廢止セリ  
因テ收入金ノ分ハ辨税帳ノ組入レ工細スヘキ  
ヨリ牛乳製所備馬等ノ入費ハ下付テ請フト  
ノ稟候アリ是ニ於テ右金七百十四圓二十八錢

書  
録  
天

大  
藏  
省

五厘下存スヘキニヨリ租税ノ上納ニ立ヘシ前  
条ニ附屬ノ器械等ハ入札拂ノ上代金別途ニ上  
納ス、レ但牛馬税金ハ詳細調書ヲ副、租税寮  
ニ上納シ牛乳其他拂代金ハ出納寮ニ上納ス、  
シト指令セリ 六月廿日

第六十六號

濱田縣ヨリ港内取締規則其外人民樞要ノ事ニ  
テ速ニ觸示スヘキ公ハ便宜ヲ以テ重刻スヘキ  
旨布達アリ但其入費ハ官費ニ仕拂ヒ然ル、シ  
ヤト稟候アリ乃チ右入費ハ第一常備金ヨリ仕

拂ヒ爾後ハ當省第九十五號布達ノ通り心得、  
シト指令セリ 六月廿日

第六十七號

群馬縣ヨリ生糸其外品物賣買市場舊米免許ノ  
場所ニ限リ其他ハ近傍市場故障ノ有無取調ノ  
上允許セシニ向キヒ諸株廢止ノ後ハ開市場モ  
其例ニ依ラレテ稟候セシニ故障ノ有無取調  
許可ハ上申報スヘキ旨指令アレ他ノ開市ニ  
故障ヲ主張スルハ人ノ自由ヲ妨タケ到底私情  
ノ頑固ナレハ以後ハ故障ノ有無ヲ問ハズ開市





ヲ許可シ然ルヘシヤトノ稟候アリ是ニ於テ開  
市ノ請願アリテ近傍故障ヲ主張セハ其利害得  
失調査ノ上更ニ稟候スヘシト指令セリ 六月二  
十日

第六十八號

愛知縣令鷲尾隆聚ヨリ舊事務引絶濟ニテ若松  
縣ヨリ帰京セシニヨリ速ニ赴任スヘキノ處新  
任ノ事務面ノアタリ稟候ヲ經ルノ箇條等多端  
ナルニ由リ十五日ヨリ十日間滞京ヲ請フトノ  
稟候アリ乃チ候スル處聴取セリ 六月二  
十三日

第六十九號

大分縣ヨリ管下舊熊本縣鶴崎出張所附野津原  
驛、後來驛遞所設テ置キ其入費ハ官費ヲ以テ  
支給シ来リ壬申三月ヨリ同六月改革マテノ分  
下付アリタシトノ申請アリ是ニ於テ請フ所ハ  
不都合ナレ氏既往ノ儀ニヨリ入費金十八圓十  
三錢三厘別途ニ下付ス可キニヨリ請取方申牒  
スヘシト指令セリ 六月二  
十三日

第七十號

山形縣ヨリ諸布達書規則類管内頒布ノ至便ヲ  
謀リ且貴省第十二號ノ布達ニ基キ翻刻セント



スレハ邊鄙良工ニ乏シキ故ニ以後ハ本廳一部  
 部三支廳及ヒ七大區各一部ウ、合十一部下  
 付ヲ請フトノ專候アリ乃チ本月廿日達旨ノ通  
 以來ハ五十部ツ、下付スヘシト指令セリ  
 六月廿三日

第七十一號

濱田縣ヨリ管内書類遞送ノ費用ハ民費ニ課ス  
 ハキ旨向キニ公布アレ氏管内ヨリ管外ニ継々  
 或ハ一時雇入仕立飛脚等ハ官費ニ仕拂然ルハ  
 シヤト專候アリ是ニ於テ管外ニ跨リシ分ハ本  
 未當省第十九號布達ノ如ク官費ニ立管内ノ分

ハ仕立飛脚タリ氏官費ハ聴取シ難シト指令セ  
 リ  
 六月廿四日

第七十二號

山梨縣ヨリ貢金取扱ノ儀小野善助、委任ニ然  
 ルヘキヤトノ專候アリ乃ケ候スル所ハ聴取ス  
 ルニ由リ一般ノ規則ヲ設クル迄嚴重條約ヲ立  
 後日不都合ナキヤウ注意スヘシト指令セリ  
 六月四日

第七十三號

足柄縣ヨリ布告書類重刻ノ分ハ別段達スヘキ

ニヨリ其他ハ重刻ニ及ハサル旨向キニ違旨ヲ  
 領セリ然ルニ通常ノ布告書タリトモ管内ノ領  
 布ノ冊數多ク騰寫ニ時日ヲ費スニ由リ活版摺  
 立ノ儀従前ノ如ク了取アラナイヲ請フトノ稟  
 候アリ乃チ本年第九十五號當省布達ノ如ク其  
 他官費支給ハ許可シ難シト指令セリ  
六月廿四日

第七十四號  
 敦賀縣ヨリ諸布達書類頒布ノ費用民官費ノ区  
 別如何定メ然ルヘシヤト稟候アリ乃チ本年第  
 九十五號當省布達ニ照シ重刻ノ公ハ官費タル

ハシト指令セリ  
六月二十四日

第七十五號  
 宮城縣ヨリ向キニ年季奉公人解放ノ意ニ基キ  
 藝妓娼妓等悉皆解放スヘキ旨ヲ達ヒニ改業  
 ノ目途ナク猶舊業ヲ営マントシテ懇願スル者  
 ハ娼妓ハ一月金七十五錢藝妓ハ同五十錢貸坐  
 敷ハ同五十錢宛ノ收税ト定メ其他嚴ニ規則ヲ  
 設ケ許可セシ旨規則書ヲ副テ申報アリ  
六月十四日

第七十六號  
 山梨縣ヨリ布告書類重刻ノ儀貴省第九十五號



布達ノ趣アレバ人民緊要ノ事件ニ至ルハ其土地風俗ニ依リ緩急ノ異ナルアリ縱令ハ港内規則ノ如キハ都會ノ地ニ急ニシテ當縣ノ如キハ却テ緩ニシテ可ナリ銃獵規則ノ如キハ人家稠密ノ府縣ニハ緩ニス可ナレバ當縣ノ如キ山間ハ尤急ナリ一概ヲ以テ論シカクシ且當縣ハ無比ノ頑固ト移スル所ニシテ動モスレハ危疑訛言ヲ生シ易スレ竊カニ思フニ方今縣務ノ要ハ僻邑寒村ノ細民ヲシテ朝意ノ在ル所ヲ知ラシムルニ在リ因テ民費ヲ以テ活版一具ヲ購求シ

毎件刷立頒布セリト雖氏尚諸般輻湊ニ遲緩ノ憾ナキアタハス因テ全國戶籍調ノ費用ヲ省キ長寄製第二等ノ大字活版器械ヲ購求シ各府縣へ下付アリタシトノ意ヲ以テ見込書ヲ副テ稟候アリ是ニ於テ候スル所理アリト雖氏以來當省ノ布達ハ五十部ツ、下付スヘキニ尙官費重刻ハ許可シ難シ但民費ヲ以テ重刻スルハ此ノ限りニ非スト指令セリ  
六月廿五日  
第七十七號  
神奈川縣ヨリ東京往復郵便遞送ノ儀向キニ稟

大藏省  
大藏省

候セシ如ク前島驛遞頭、商議セシニ遞送配達  
ノ方法及ヒ重量ノ變更モ有ル、キニ付先ツ一  
ケ月金五十圓宛トシ當分ノ内試ミシ上年額ヲ  
定メ可ナラントノ回答ニヨリ右ノ割合ヲ以テ  
交付方取計ラヒシトノ申報アリ 六月廿五日

第七十八號

青森縣ヨリ管下人民諸般同等郵便ヲ以テ遞送  
スルニ付簡便ノ為メ美濃紙半切界紙ヲ用エ、  
キ旨管内、布達セシトス付テハ其内貴省ノ指  
令ヲ請フモノ及ヒ他府縣ノ關涉スル者ニモ右

界紙ヲ用ヒタキト、專候アリ是ニ於テ管内限  
リ用ユルハ苦シカラスト雖モ其他ハ許可シ難  
シト指令セリ 六月二十三日

第七十九號

神奈川縣ヨリ諸布告書類等活版頒布ノカ費用  
官費ニ主テ然ルヘシヤト、專候アリ是ニ於テ  
活版施行ノ儀ハ本年第九十五號當省布達ノ如  
ク但民費重刻ハ妨ケナキ旨指令セリ 六月二十九日

第八十號

熊谷縣ヨリ舊群馬八間兩縣土地人民本月十八

雜  
記

大

雜  
記

雜  
記

日請取リ物成諸帳簿ナモ不日領取ス、キニ付  
追テ詳細申候ス、シト稟報アリ 六月ニ  
十九日

第八十一號

名東縣ヨリ香川縣當縣、合併ニ付地所物成郷  
村等悉皆領取セリトノ稟報アリ 六月  
五日

第八十二號

岩手縣ヨリ正己十一月藩廳ヲ立舊領主南部氏  
ト分別ノ時藩諸費ヨリ非常凶荒ノ倫又ハ同氏  
共ニ旗活計ノ目途ヲ立ルノ見込ヲ以テ罪科取  
上物且同藩所持ノ雜具其他賣拂ノ資本ニ立テ

商會所ヲ設ケ商業ヲ開キ或ハ物産資本ニ假貸

セシ所毎々損失多ク運轉シ難キニヨリ公廨及

ニ商法會所ヨリ偷金ヲ以テ僅カニ辨用スルニ

遂ニ行立難ク幸未九月石會處廢止セリ然ルニ

廳ニテ借請ノ資財并商社ヨリノ借金返濟南部

氏、疾シ入其他數件勘定ノ始末擔當ノ舊官負

ノ不止ノミナラス之レヲ精究スルニ至テハ他

管轄ノ者マテニ差響キ其事容易ナラス畢竟舊

藩因襲ノ隋風ヨリ知ラス識ラス右ノ始末ニ至

リ不都合ヲ極ムト雖モ今更為スヘキノ手段ナ

果  
大

大

大

大

キニ付其時々情状ヲ察セラレ特別ノ詮議ヲ以  
テ處分ヲ乞フト明細箇條書ヲ差出シ且吏官ヨ  
リモ同縣候スル處意見申牒スヘキ旨商議アリ  
此ニ於テ岩手縣候スル處舊縣不正ノ始末立縣  
後勘定帳金穀ノ内舊藩負債并舊知事持越米金  
等管内用違等ヨリ借請ノ姿ニ偽券ヲ作り且康  
午勘定帳ニ至テハ買米ノ内稟候ヲ經ス地拂ニ  
取計ラレ代金未納ニ付縣限リ貸附證文ヲ収メ  
其他件々藩制適宜中ノ因襲ヲ以テ取計ラレ實  
ニ不都合ノ至リナリト雖モ今日ニ至テ引戻ス

ハキ策モ之レナク因テ件々指令案ヲ付シ進呈  
セルニ付特議ヲ以テ聽許セラレ右當時至任ノ  
官莫ハ相當ノ處分アリ自餘岩手縣申請ノ通り  
一切寛典ノ所分アリタキ旨正院、稟候セリ  
四月二十

明治七年四月

大藏卿大隈重信代理

大藏少輔吉田清成



大藏

大藏